

不二

小学初級版 幼・1・2・3年生用



第44回全国公募千字文大会成績発表

10/2022

第44回 全国公募千字文大会

文部科学大臣賞 受賞作品

中国南北朝時代、梁の武帝の命を受けた周興嗣は王羲之の草書文字千文字を、一夜にして四言二百五十句から成る「千字文」として編集しました。千字全てに亘り一文字の重複もなく、自然と人生を包含する美しい詩情は、一つの文学としても価値の高いものです。

石橋犀水博士は書道教育の集大成として日本書道藝術専門学校を創立されるのと同時に、漢字学習と書技の上達に大きな役割を果たしてきたこの「千字文」を題材とした千字文大会を企画開催されました。

以来、多くの皆様からご出品をいただきながら、44回を数えるに至り、本年も8,850点もの作品が全国各地より寄せられました。幼年・小学生毛筆の部、中学・高校毛筆の部、一般毛筆篆刻の部、一般硬筆の部よりみごと最高賞である文部科学大臣賞に輝いた四作品をここにご紹介いたします。

毛筆
小学部
ⅠⅠ
西
らん子



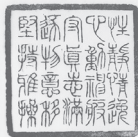
墨子は絲が色に染まるように
人の心も悪に染まり易いと戒めた
匠ぐく

毛筆 中学・高校部 清月 石垣 匠

漆書壁經

壁中より見つかった竹筒は
黒い漆で書かれた儒教の
經典であった漆書とは漢
の皇帝が、壁中より得た
漆に書いた書壁經といふ孔孟の
壁中より得たといふ経をさす

硬筆 一般部 公津 荻村加代子



性静情逸 心動神疲
守真志滿 逐物意移
堅持雅操 滴翠刻

篆刻 一般部 広島 三吉 重三

※初級版の特別賞受賞作品は42頁〜44頁にも掲載しております。

第44回千字文大会展授賞のお知らせ

おる、令和4年7月31日実施の第44回全国公募千字文大会
〔観覧の部〕におきまして、あなたの作品は
文部科学大臣賞と決定いたしました。
此趣に心よりお祝いとお喜びを申し上げます。

第44回全国公募千字文大会展
審査委員長 石垣 智子
運営委員長 石垣 智子



特別賞（文部科学大臣賞、日本書道藝術専門学校校長賞、
学会理事長賞、静岡県知事賞）を受賞された方々へは
Web レタックスで受賞をお知らせしております。

大空へ手習い

本会創立者 石橋 犀水

良寛さんの大空手習いは、有名な話である。朝起きると、いおりの庭に出て、青空に向って思いきり右手をのばして、大きく字を書いたそうである。「字は指先で書かずに腕で書け」とよくいうが、これは腕どころではない、体全体で書くのだから、さぞよい修養になったことであろう。これとにたような話が豊後（大分県）の画家田能村直入にもある。

彼は道行く時、かならず持っていた扇で空に手習いをした。それがおどっているように見えるから、子供たちがあとからついて来た。それに気がつくのと止めるが、通り過ぎるとまた独りはじめて、悦に入ったということである。

※この巻頭言は不二誌上級版昭和五十六年六月号にお書きくださったものです。

目次

◇第44回全国公募千字文大会	
特別賞受賞作品……………	表 2
◇巻頭言／目次……………	2
◇今月の課題 半紙幼年・一年生 ……	3
半紙二年生 ……	4
半紙三年生 ……	5
硬筆幼・一年生 ……	6
硬筆二・三年生 ……	7
条幅幼・一二年生 ……	8
条幅三年生 ……	9
◇手本のなにかた……………	10
◇最優秀作品……………	18
◇優秀作品……………	20
◇みんなのこえ……………	27
◇八月月例競書成績表……………	28
◇第44回千字文大会成績発表……………	42
◇かんじのひょうげん……………	50
◇編入試験受験案内……………	52
◇競書出品のしかた……………	54
◇硬筆用紙幼／二年生……………	55
◇硬筆用紙三年生／ヨーコちゃん……………	56
◇出品券／課題予告／あとがき……………	57
◇全日本学生書道展公募規定……………	表 3
表紙 龍門石窟の孫悟空の拓本より	
デザイン 石橋 應和	

しめきり厳守 【今月の出品期間 9月29日(木)～10月12日(水)】

● 11月号(9月28日～9月30日発送) 発表の段級を10月出品の作品に書いて出品してください。

段級検索 I Dのご案内は 28 ページをご覧ください。

◎教室長の方には、実力向上のためにも一般版の購読をお勧めいたします。

ア
キ

（手本のならいかたは10ページ）

きょうしつ だん なまえ きゅう

ア
キ

☆教室名を記入

☆段は赤の漢数字（初・二・七）で記入

☆級は黒の算用数字（1・2・10）で記入

☆出品券をはる

☆はじめて出品するときは、このなかの一字だけを
かいても出せます。一字だけを出品する場合は、「幼
年・一年」と学年を出品券横に明記してください。

☆なまえは、かけるひとは漢字でかきましょう。
☆なまえもさくひんのいちぶです。
ていねいにかきましょう。

お
み
こ
し

（手本のならいかたは10ページ）

お
み
こ
し
な
ま
え
し
み

☆教室名を記入

☆段は赤の漢数字（初・二・七）で記入

☆級は黒の算用数字（1・2・10）で記入

☆出品券をはる

☆はじめて出品するとき、このなかの一字だけを
かいても出せます。一字だけを出品する場合は、
「二年」と学年を出品券横に明記して下さい。

☆なまえは、かけるひとは漢字でかきましょう。
☆なまえもさくひんのいちぶです。
ていねいにかきましょう。

明
星

（手本のならいかたは11ページ）

明
星

教室
段
名
前
級

☆教室名を記入

☆段は赤の漢数字（初・二・七）で記入

☆級は黒の算用数字（1・2・10）で記入

☆出品券をはる

☆はじめて出品するときは、この中の一字だけを書いても出せます。一字だけを出品する場合は、「三年」と学年を出品券横に明記して下さい。

☆名前はなるべく漢字で書きましょう。
☆名前もさくひんのいちぶです。ていねいに書きましょう。

〔硬筆幼年〕

（手本のならいかたは12ページ）

こ	モ
う	ミ
よ	ジ
う	

こうよう モミジ

★用具は鉛筆または呉竹かきかたペン（サインペン）、色は黒です。ボールペンの使用は不可。
★清書では消しゴムを使用しません。

依田蘭香先生書

〔硬筆一年生〕

（手本のならいかたは13ページ）

キ	水
ク	ま
の	き
花	

キクの花 水まき

★用具は鉛筆または呉竹かきかたペン（サインペン）、色は黒です。ボールペンの使用は不可。
★清書では消しゴムを使用しません。

依田蘭香先生書

※高学年の用紙を使う場合は右のように必ずマスの線を入れて書いてください。

☆名前は、かける人は漢字でかきましょう。課題と同じようにていねいにかきましょう。
☆鉛筆の濃さは、2Bか3Bであることがのぞましい。

〔硬筆二年生〕

（手本のならいかたは14ページ）

い	わ	し	雲			
す	み	わ	た	る	空	

いわし雲 すみわたる空

★用具は鉛筆または呉竹かきかたペン（サインペン）、色は黒です。ボールペンの使用は不可。
★清書では消しゴムを使用しません。

荒谷由美子先生書

※高学年の用紙を使う場合は右のように必ずマスの線を入れて書いてください。

〔硬筆三年生〕

（手本のならいかたは15ページ）

東	の	空	から	月	が	の	ぼ	つ	て	く	る

東の空から月がのぼってくる

★用具は鉛筆または呉竹かきかたペン（サインペン）、色は黒です。ボールペンの使用は不可。
★清書では消しゴムを使用しません。

荒谷由美子先生書

☆名前は、なるべく漢字で書きましょう。課題と同じようにていねいに書くようにしましょう。
☆鉛筆の濃さは、2Bか3Bであることがのぞましい。

じょう ふく
〔条幅 2 年生〕 こ く ぼ れい せき
小 久 保 嶺 石 先生 書

じょう ふく よう
〔条幅 幼・1 年生〕 こ く ぼ れい せき
小 久 保 嶺 石 先生 書

教室名

段(赤の漢数字)

名前

級(黒の算用数字)

星

名

く

前

ず

しゅっぱんけん
出品券をはる

教室名
星くず

段(赤の漢数字)

名前

級(黒の算用数字)

お

な

ま

え

ち

ば

しゅっぱんけん
出品券をはる

おちば

★条幅の大きさはたて 68 cm × よこ 23 cm (全紙 6 分の 1) です。

【お願い】 条幅作品でも、半紙作品と同様に、「教室名、段(赤の漢数字)、名前、級(黒の算用数字)」を書いてください。

学習のポイント

じょう ふく
〔条幅 3 年生〕 こく ぼ れい せき
小久保嶺石先生書

月
見
台

★段は赤の漢数字（初・二…七）、級は黒の算用数字（1・2…10）で記入。

教室名

段（赤の漢数字）

名前

級（黒の算用数字）

筆使い

条幅作品では、筆使いを工夫して書きましょう。筆の鋒の弾力（バネ）を使って、のびのびと。

反省と鑑賞

書き終わったら、少しはなれて、字の大きさや線の太さがよいか見ましょう。全体感、三字の収め方を確かめましょう。

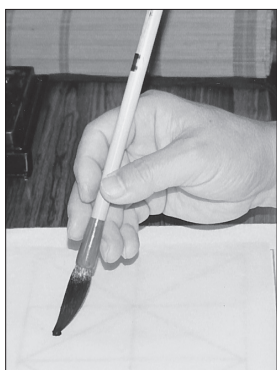
章法（構成）

名前はしあげです。全体を見て入れましょう。

名前
月見台

しゅっぴんけん
出品券をはる

◆双鉤法
ふでのもちかた



人さしゆび、中ゆびの2本をふでのじくにかけてもつもちかた。

紙面から手首を離して、筆管は第二関節に副えます。手首を柔らかくして、指には力を入れずに軽く持ちます。腕を開いた分だけ腕を上げ、手首と指を少し内側にまわした形で筆を持ちます。

これは運筆のときの筆と手指、腕の状態を示している
ではありません。ご注意ください！

（手本のならいかたは16ページ）

ここにちゅうい 幼・1年

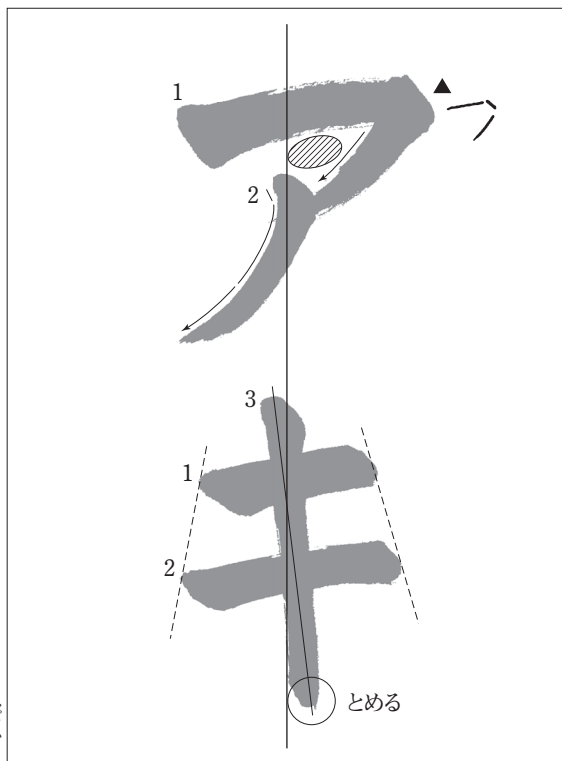
ねらい
★左はらい、転折（折れ）の練習。
★姿勢の確認。（上の字を書く時は半紙を手前にひく）

学習のポイント
ア：一かくめは右上がりに力強く、転折（折れ）では腕を上げて鋒先の向きをかえる。二かくめを書き出す位置がどこかお手本でかくにんする。

キ：横画の長さに気をつける。三かくめはまっすぐではなく、少しかたむかせる。

▲とめてほうこうをかえる

●あきに注意



ここにちゅうい 2年

ねらい
★半紙にひらがな四字をバランスよくおさめる。
★筆使いの基本を学ぶ。

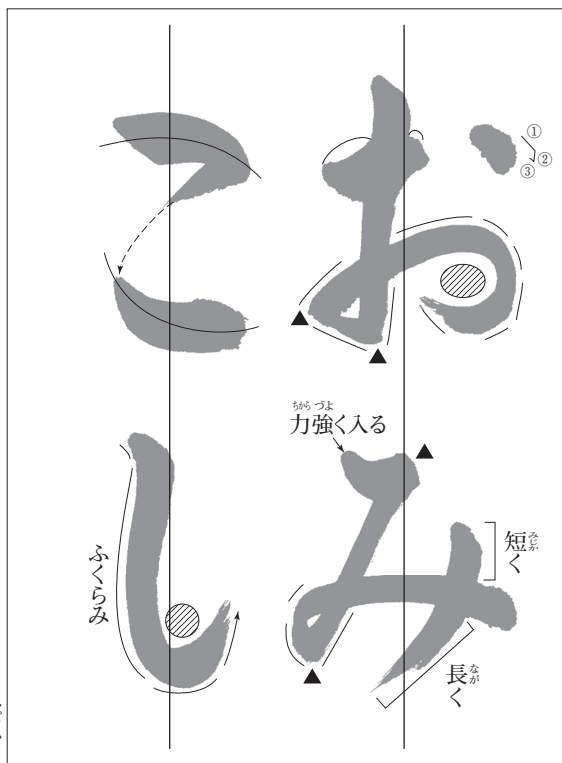
学習のポイント
お：二画めは、むすびを三角形につくり、大きくのびやかにまがる。三画めの位置にも気をつける。

み：一画めは力強く入り、むすびは三角形に。二画めはのびやかにはらう。

こ：一画めと二画めが向かいあうように。
し：たての線は、少し左へとふくらみをもたせるとよい。

▲とめてほうこうをかえる

●あきに注意



てほん 手本のなにかた / はん 紙

こく ぼれい せき
小久保嶺石先生書

ここに
ちゅうい 3年

▲とめてほうこうをかえる

◎あきに注意

○広さに注目

ねらい

★半紙二字書き課題。

★余白や分間に注意する。

学習のポイント

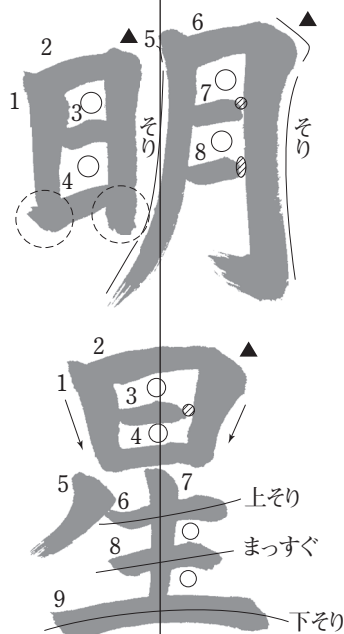
明：「日」（ひへん／にちへん）は線の組み合わせ方に

注意して、やや小ぶりにまとめる。五・六画めのた

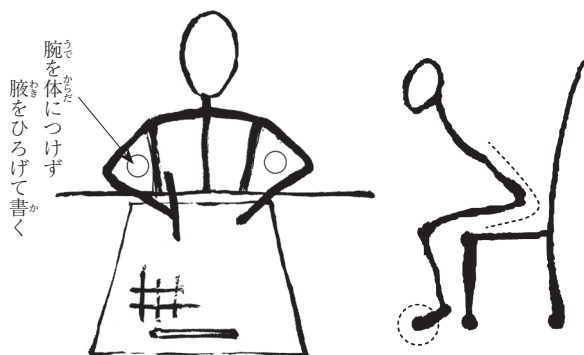
て画はたがいに内側へとそるように（背勢）。

星：「日」を横広にし、「生」でささえるイメージ。横

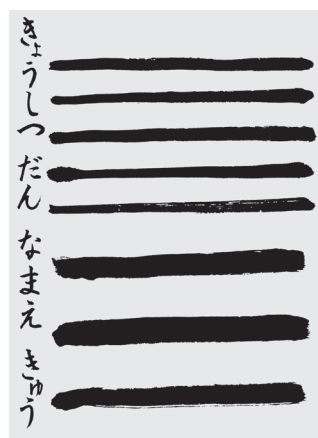
画の間かく、長短、そりにも注目する。



【正しい姿勢】



- 両腕をはって体で書く
(下腹に力を入れて体を前後左右に動かせるように)
- 机との間にゲンコツ1つ、背もたれとの間にゲンコツ2つから3つ
- 両足は少し開いてつま先を床につける。
- おしりを突き出すように座る。



課題を書く前の準備運動に「横棒」を書いてみましょう。
書道を始めたばかりの方は「横棒」を書いての出品も可とします。
出品券横に必ず学年を明記して下さい。

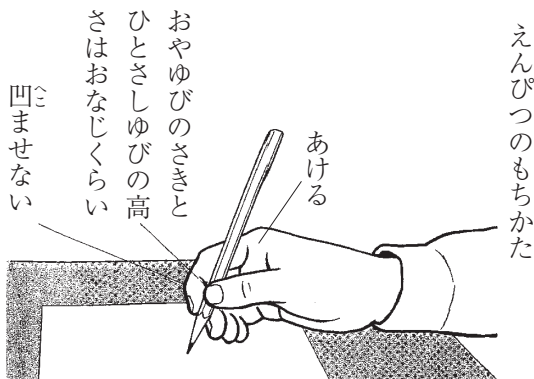
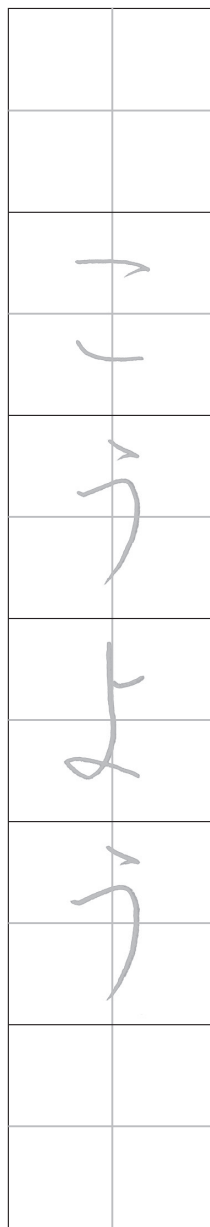
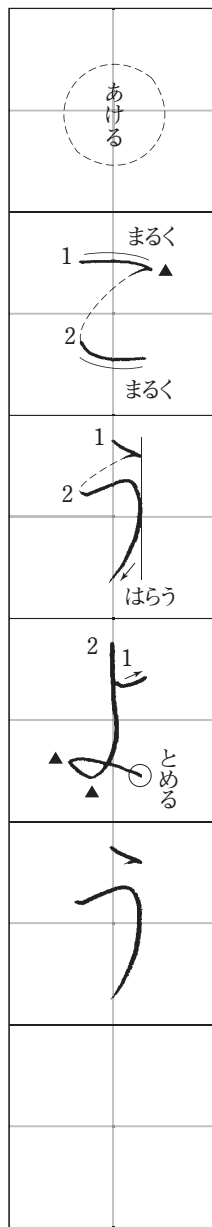
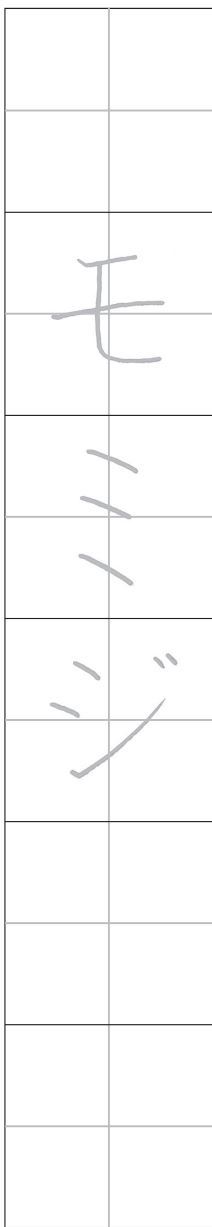
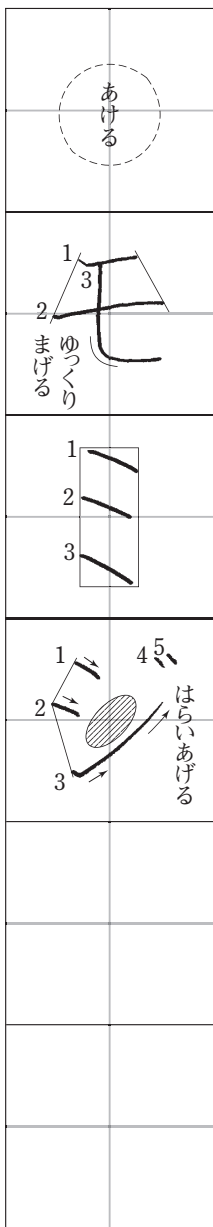
×
すこし
まるくする

▲とめてほうこうをかえる

◎あきに注意

※中心の線は下じきに入れて書きましょう。

依田蘭香先生書

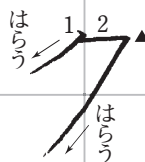


年生



※中心ちゅうしんの線せんは下したじきに入いれて書かきましよう。

依田蘭香先生書



	一
	ミ
わ	丨
た	一
	る
	、

	い
	丨
し	し
	一

※上をそろえた書式で書いています。
※伝統的な毛筆表現にならって句読点を省いています。

▲ とめてほうこうをかえる

○ 同じ広さ

● あきに注意

※中心の線は下じきに入れて書きましょう。
※一字の書きはじめての部分を示しています。

荒谷由美子先生書

の
ぼ

つ
て

く

る

東

はねてもよい

の

空

か

ら

月

が

てほん 手本のならいかた／条幅

こく ぼ せい 先生書
小久保嶺石先生書

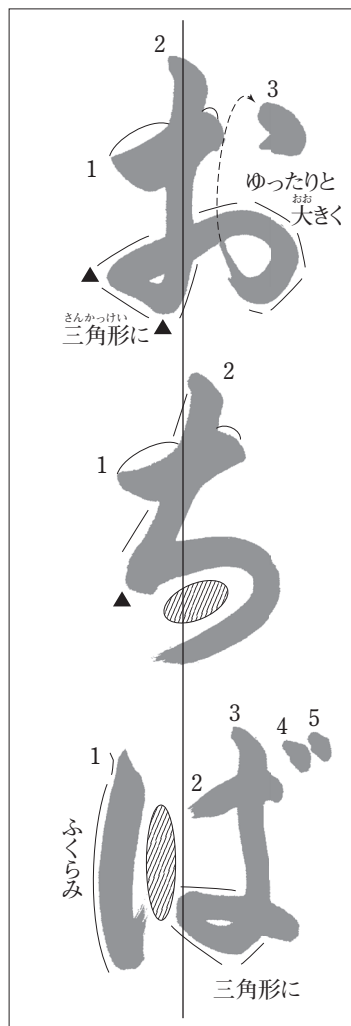
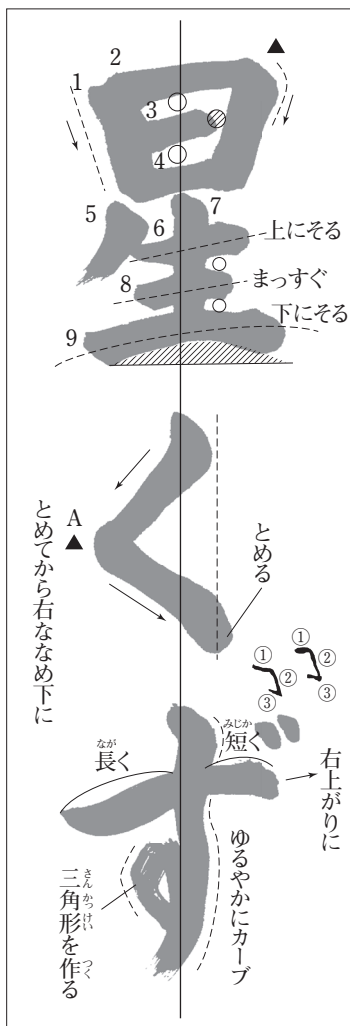
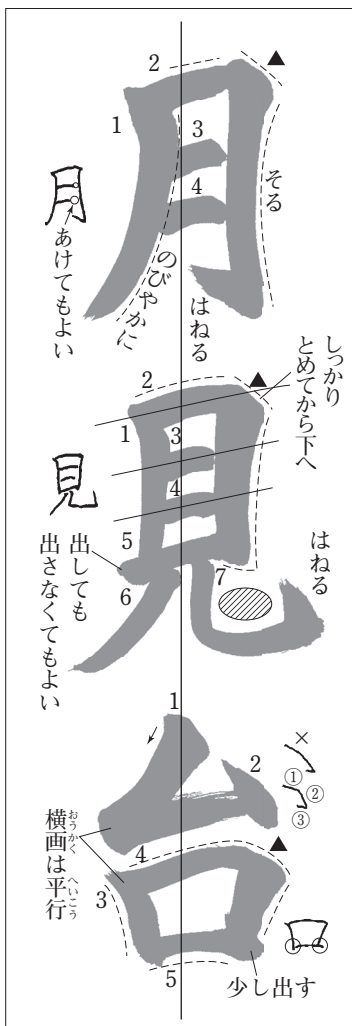
こく ぼ せい 先生書
小久保嶺石先生書

こく ぼ せい 先生書
小久保嶺石先生書

▲止めて方向を変える

○広さに注目

●あきさに注意



【お願い】条幅作品でも、「教室、段（赤の漢数字）、氏名、級（黒の算用数字）」を書いてください。

ここに 3 年生
ちゅうい

ここに 2 年生
ちゅうい

ここに 幼・1 年生
ちゅうい

ねらい
★きほんの筆使いの練習。
★まがり、むすびの練習。
お：二かくめのまがりは、ゆつたりとおお大きく書く。
ち：一かくめは、右上がりに。二かくめのさいごは、はらうようにひきぬく。
ば：一かくめはふくらみをもたせる。二・三かくめは、一かくめとはなして、あいだ（ふところ）をひろくとる。三かくめのむすびは三角形を作る。
見：五画めは出しても出さなくてもよいが、出した方が書きやすい。
台：「ム」「口」の横画は右上がりに平行にするとよい。

ねらい
★横画の書き方の練習。
★むすびと点の要領を学ぶ。
星：「日」と「生」の横画がのびすぎないようにするとよくまとまる。
く：Aのところでしっかりとめてから右下へおろす。
ず：むすびは三角形を作る。三・四画めの点も三角形を作るように書く。

ねらい
★きほんの筆使いの練習。
★まがり、むすびの練習。
お：二かくめのまがりは、ゆつたりとおお大きく書く。
ち：一かくめは、右上がりに。二かくめのさいごは、はらうようにひきぬく。
ば：一かくめはふくらみをもたせる。二・三かくめは、一かくめとはなして、あいだ（ふところ）をひろくとる。三かくめのむすびは三角形を作る。

第72回全日本学生書道展^{公募規定}

出品期間：令和4年10月3日(月)～10月7日(金)

〔趣 旨〕 感受性に富む幼少年期の児童、生徒達に書道作品発表の場を提供し、書道研鑽を通して、我が国の誇る伝統ある文字芸術、書道の知識を豊かにし、感性を陶冶し、未来を担う豊かな人間育成に貢献すると共に、日本人としての自覚と誇りを持つ人材の育成に資する。

部 門	寸 法	出品料(税込)	表装料(税込)
① 幼・小学部 全紙 ⅓	縦 68cm×横23cm	1,500 円	3,300 円
② 幼・小学部 一字書	縦 34cm×横35cm	1,500 円	3,500 円
③ 中 学 部 半切 ½	縦 68cm×横35cm	2,000 円	3,500 円
④ 中 学 部 一字書	縦 58cm×横53cm	2,000 円	4,700 円
⑤ 高 校 部 半切	縦136cm×横35cm	3,000 円	4,000 円
⑥ 高 校 部 一字書	縦 58cm×横53cm	3,000 円	4,700 円

- * 縦作品のみで横作品は不可。
- * 作品は「未表装」のまま出品すること。
- * 各部とも出品点数は制限しない。
- * 各部とも選文・書体自由。
- * 臨書の場合は、出典、釈文を出品券の各欄に明記のこと。
- * 墨色についても配慮すること。
- * 規定違反は受け付けない。
- * 秀作賞以上の作品は本会で一括表装する。表装料は作品返却時に指定表装店より代金引換。

会 期 令和 5 年 1 月 4 日 (水)～1 月 10 日 (火)

- ・ 午前9時30分～午後5時30分（入場は午後5時まで）
- ・ 最終日は午後2時まで（入場は午後1時30分まで）

会 場 東京都美術館 2 階第 2・3 展示室（東京都台東区上野公園8-36）

授賞式 令和 5 年 1 月 8 日 (日)

褒 賞 文部科学大臣賞、学会大賞、中国大使館賞、東京都教育委員会賞、他各賞

- ◇全日本学生書道展関係の郵便物は「不二」誌競書との混同をさけるため、封筒のおもてに「全日本学生書道展係」と明記のうえ別個に送付すること。
- ◇本展覧会規定の出品目録や郵便振込用紙の請求はすべて返信用封筒（住所・氏名記入、切手140円貼付）同封のうえ全日本学生書道展係宛に申し込むこと。

《送付先・お問い合わせ》

〒101-8358 東京都千代田区西神田2-2-3

公益財団法人日本書道教育学会 全日本学生書道展係

電話：03-3234-3956 FAX：03-3234-3548



不ふ

二じ

小学
初級
版

■ 出品者

城和石 月芳 祥園 華晃 石鳳子 仙苑 洽山 山邑
鯉應嶺 秋蓮 香華 彩芝 小泰 景秀 清鳳 映愛 華
橋橋保 野塚 宿原 倉塚 川岡 谷木 川島 林原 木
石石小久 浅飯 指上 大大 小小 片甲 鎬龜 小小 菅鈴

水寿 梧水 樹草 音秀 霞月 濤春 苑琴 翠舟 水峰
稲万 井望 香淡 琳桂 幸窗 香溪 玉真 清虹 淀菰
木山川 巳井 尾條 宮川 田原 橋浦 廣川 阪田
鈴須 立辰 永中 中二 二長 林福 船三 安吉 吉吉

会 期 令和 4 年 9 月 20 日 [火] — 25 日 [日]

午前 11 時 ~ 午後 7 時 (最終日は午後 5 時まで)

会 場 鳩居堂画廊 3 階・4 階

〒104-0061 東京都中央区銀座 5 丁目 7-4

TEL: 03-3574-0058

第 13 回

漢字造型と 傳統の寫經展

入場
無料

【主催】公益財団法人日本書道教育学会 【後援】学校法人 日本書道藝術専門学校
www.nihonshodou.or.jp

毛筆・ペン・篆刻作品展

第 44 回

全国公募 千字文大会

会 期

令和 4 年 9 月 24 日 [土] — 26 日 [月]

■ 会 場 日本書道藝術専門学校 (第 1 会場)、東洋文化不二研修所 (第 2 会場)
(東洋文化不二研修所) 〒414-0044 静岡県伊東市川奈 1191 TEL 0557-45-3254

■ 時 間 午前 10 時 ~ 午後 4 時 30 分 (最終日は午後 3 時まで)

【主催】学校法人 日本書道藝術専門学校 公益財団法人 日本書道教育学会

入場
無料

〈日本書道藝術専門学校 千字文大会事務局〉

〒414-0051 伊東市吉田 1022 TEL (0557) 45-4194 FAX (0557) 45-3256
www.nihonshodou.ac.jp

ねん	ふじきょうしつ
くみ	だんぎゅう
なまえ	はんし
	こうひつ
	じょうふく